

ゾウが楽しく暮らすための工夫(エンリッチメント)について

ゾウは本来、1日のうち7割ほどの時間を食べたり、食べるために移動したりすることに費やしていますが、動物園のゾウ達は、行動する範囲が限られており、餌も飼育担当者から与えられるため、活動する時間が少なくなってしまいます。少しでも時間をかけて餌を探したり、遊んだりしてもらうために様々な工夫を行っています。

地面の砂に餌を埋める

匂いを嗅いで餌を探して、鼻と足を使って餌を掘りあてます。



天井から乾草を吊るす

鼻を上に伸ばして餌を食べることで、鼻や首の筋肉も鍛えられます。



木や枝を与える

皮を剥いで食べたり、枝を使って体をかいたり、蹴って遊んだりします。



壁の穴に餌を隠す

見えないところでも、鼻を上手に使って餌を探します。



おわりに

札幌では12年ぶりに見ることのできるゾウ。はじめてゾウを見ると、いつも、たくさん居るかもしれません。円山動物園で暮らすゾウ達を見て、ゾウの大きさやすごさを感じてください。そして、少しゾウに興味が湧いてきたら、ゾウ舎にあるたくさんの解説に目を向けて、ゾウが棲んでいる国のことや、ゾウが暮らす環境、抱えている問題について、考えてみてください。



3月1日～10月31日…午前9時30分～午後4時30分
11月1日～2月末日…午前9時30分～午後4時

毎月…第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日)

4月・11月…第2水曜日を含むその月～金曜日
12月…29～31日

大人年間パスポート/1,000円
大人(高校生以上)/600円
駐車料金 普通車/1回700円

飼育動物数

(2019年2月末現在)

哺乳類	58種	295点
鳥類	42種	166点
爬虫類	52種	190点
両生類	15種	254点
魚類	1種	8点
総計	168種	913点

札幌市円山動物園公式HP

<http://www.city.sapporo.jp/zoo/>

札幌市円山動物園 TEL011-621-1426



Sapporo
Maruyama Zoo

2019
vol.164
臨時号

さっぽろ 円山動物園 だより

編集・発行:札幌市円山動物園
平成31年(2019年)4月23日発行

〒064-0959
札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
TEL/011-621-1426 FAX/011-621-1428
<http://www.city.sapporo.jp/zoo/>

ゾウ舎オープン記念号

新施設「ゾウ舎」が2019年3月12日にオープンしました!
広さは屋内・屋外を合わせて約5,200m²で国内最大級!その見どころを紹介します。

屋内



屋外

陸のステージ



スクリーンが設置されており、水や森、ゾウたちの生活などについて学ぶことのできる映像プログラムの放映も行ないます。

水のステージ



最も深いところで水深3m。大人のゾウも全身で浸かることができます。

トレーニングゾーン



飼育担当者がゾウをトレーニングする様子を間近で見学することができます。穴の開いた壁からは、ゾウが鼻を使って上手に餌を取る様子も見ることができます。

屋外放飼場 特徴①

広さ約3,000m²の屋外放飼場。オス用とメス用の2つのエリアに分かれしており、どちらにも水場があります。



屋外放飼場 特徴②

ゾウ達の足の負担をやわらげるために、地面には厚さ約50cmの砂を敷き詰めています。



ミヤンマーからやってきた4頭のアジアゾウ

親子

シュティン

ニャインのお母さん。4頭の中で一番大きく、おっぱいがはっきり見えます。

1991年4月28日生



ニャイン

ニャインの子ども。他のゾウよりも二回りほど身体が小さい。

2013年5月12日生



パール

小さな牙が見えます。アジアゾウのメスの牙は、外から見えにくいことが多いですが、オスと同じく、メスにも牙があります。

2003年9月12日生



シーシュ

立派な牙があります。牙は、木の皮をはいだり、土に埋まった木の根を掘って食べるのに使います。

2008年8月4日生



4頭のアジアゾウの愛称は、一般から公募し、投票のうえ決定しました。

2019年2月24日には、円山動物園で

命名式を開催し、愛称の発表等を行いました。



なぜ円山動物園にゾウを導入したの？

以前、円山動物園では花子とリリーという2頭のゾウを飼育していました。人気者だった2頭ですが、1999年にリリー、2007年に花子が亡くなり、円山動物園にはゾウが居なくなりました。その後、札幌にゾウを呼びたいという市民の皆さんからの声が多く上がったことなどを受け、ミャンマー・日本外交樹立60周年記念事業の一環として、円山動物園とミャンマーの動物園との相互寄贈プログラムにより、アジアゾウ4頭の来園が決定しました。



円山動物園でのアジアゾウの飼育方法

準間接飼育

新しいゾウ舎では、「準間接飼育」という方法でゾウを飼育しています。準間接飼育は、飼育担当者がPC(プロテクテッド・コンタクト)ウォールという柵を隔ててゾウと接し、健康管理を行っていく飼育方法です。ゾウが安心しながら、人も安全にゾウと接することができます。



他にも、こんな飼育方法があります。

直接飼育



飼育担当者は同じ空間で動物と接します。接する距離が近いので細かい変化などにも気づきやすいですが、重大な事故につながる可能性があります。

間接飼育



動物と飼育担当者は同じ空間には入りません。飼育担当者にとっては安全ですが、治療や健康診断のために、麻酔をかけるなどの必要があります。

トレーニングについて

準間接飼育に必要不可欠なのが、トレーニング。トレーニングを行うことで、強制的にではなくゾウ達に協力してもらいながら、健康管理や治療を行うことができるようになります。



飼育担当者が「ターゲット棒」を用いてゾウに指示を出し、PCウォールに設けられた扉から足を上げてもらったり、耳を出してもらったりします。これにより、ゾウの足を洗ったり、削蹄(つめきり)を行ったり、耳から採血を行ったりすることができます。

ゾウ舎の非公開エリアには、ゾウのための体重計が設置されています。日頃から体重を管理することで、健康状態を把握することができます。体重計に乗ってもらうためには、エサを使って、飼育担当者がゾウ達を体重計へ誘導します。最も重い母ゾウで約2,800kgあるため、体重計は、トラックの計量などに使うものが設置されています。

